八戸市市制施行88周年記念

史跡根城 薪能

TAKIGI NOH

たきぎのう

2017年9月23日［土・祝］

開　演＝午後5時30分（開場は午後4時30分）

会　場＝史跡根城の広場 八戸市博物館隣（八戸市大字根城字根城47）

※雨天の場合は八戸市公会堂での公演となります

光炎に遊ぶ　古城の宴

野村萬斎

野村万作

今井泰行

宝生和英

【演目】

火入れ式

- 仕舞　班女
- 仕舞　善知鳥
- 狂言　千切木
- 能　船弁慶

【出演者】

能 ― 宝生会

宝生和英（宝生流宗家）

今井泰行

狂言 ― 万作の会

野村万作（人間国宝）

野村萬斎 他

※冒頭、狂言・能の解説があります

チケットのご案内

SS席	¥10,000
S席	¥9,000
A席	¥8,000

プレイガイド
デーリー東北チケットセンター
八戸市公会堂、はっち
三春屋、ラピア
イオンモール下田

※全席指定・税込　※未就学児のご入場はお断りいたします

※車椅子の方は事前にデーリー東北チケットセンターへご連絡ください

主　催　デーリー東北新聞社　共　催　八戸市、八戸市教育委員会

後援　八戸商工会議所、八戸観光コンベンション協会、青森放送、青森テレビ、青森朝日放送、八戸テレビ放送、コミュニティラジオ局BeFM、宝生流八戸宝生会

お問い合わせ　デーリー東北チケットセンター　TEL.0178-73-2882（午前10時～午後5時、日・祝日除く）

番組

ご挨拶

能・狂言の解説

火入れ式

仕舞

班女　藪 克徳

善知鳥　野月 聡

地謡　小倉仲二郎　東川光夫　水上 優　金森良充

狂言　**千切木**

太郎　野村万作
当屋　石田幸雄
太郎冠者　月崎晴夫
立衆　深田博治
〃　中村修一
〃　内藤 連
妻　高野和憲
後見　飯田 豪

休憩

能　**船弁慶**

子方　野月惺太
後シテ　今井泰行
前シテ　宝生和英
ワキ　殿田謙吉
ワキツレ　大日方寛
ワキツレ　梅村昌功
間　野村萬斎
後見　朝倉俊樹　小倉健太郎

大鼓　柿原弘和
小鼓　幸 正昭
太鼓　桜井 均
笛　一噌幸弘

地謡　金野泰大　金森良充　藪 克徳　小倉伸二郎　野月 聡　金井雄資　東川光夫　水上 優

宝生 和英　ほうしょう・かずふさ

昭和61年生まれ。故宝生流19世宗家宝生英照の長男。父および佐野萌、今井泰男、三川泉の薫陶を受ける。平成3年「西王母」子方で初舞台。同20年宝生流20世宗家を襲名。これまでに「鷺」「石橋 連獅子」「道成寺」「翁」「乱」一子相伝曲「弱法師雙調ノ舞」を披(ひら)く。東京藝術大学非常勤講師、公益社団法人宝生会常務理事。演能会「和の会」主宰。

今井 泰行　いまい・やすゆき

昭和31年生まれ。故宝生流今井泰男の長男。故18世宗家宝生英雄に師事。同37年「鞍馬天狗」花見で初舞台。同50年「禅師曽我」で初シテを務め、これまでに「石橋 連獅子」「道成寺」「乱」「翁」を披く。重要無形文化財総合指定保持者。自身の同門会「吟宝会」主宰。

野村 万作　のむら・まんさく

昭和6年生まれ。祖父故初世野村萬斎及び父故6世野村万蔵に師事。軽妙洒脱かつ緻密な狂言の中に深い情感を湛える品格ある芸は、狂言のひとつの頂点を感じさせる。芸術祭大賞、紀伊國屋演劇賞、日本芸術院賞、紫綬褒章、坪内逍遙大賞、朝日賞など受賞多数。重要無形文化財各個指定保持者（人間国宝）、文化功労者。「万作の会」主宰。

野村 萬斎　のむら・まんさい

昭和41年生まれ。野村万作の長男。祖父故6世野村万蔵及び父に師事。国内外の狂言・能公演はもとより、現代劇や映画の主演、古典の技法を駆使した作品の演出、NHK『にほんごであそぼ』に出演するなど幅広く活躍。重要無形文化財総合指定保持者。「狂言ござる乃座」主宰。

［あらすじ］

狂言 千切木　ちぎりき

連歌の会の頭（当屋）になった男が、太郎冠者に会の仲間を呼びに行かせる。皆が集まって歌を考えていると、仲間はずれにされた太郎がやってくる。自分を呼ばなかったことに腹を立てた太郎は、当屋の家の掛け軸や花に難癖をつけこきおろす。怒った人々は、太郎を打ちのめし放り出してしまう。事件を聞きつけた太郎の妻は、しぶる太郎にむりやり棒を持たせ、仕返しに行くよう叱咤激励するのだが…。

題名の千切木は、時機に遅れて役に立たないという意味の「諍い果てての千切木」という諺からとられた言葉です。弱虫の割には強がる夫と、気は強いが夫思いの妻のやりとりの妙をお楽しみ下さい。

能 船弁慶　ふなべんけい

源義経は兄頼朝との不和から都落ちをするはめになり、武蔵坊弁慶らを連れて西国へ向かう。その途中、摂津の大物(だいもつ)浦の船宿で、あとを慕って追ってきた静御前を諭し、都へ帰らせることにする。静御前は別離を悲しみながらも義経の前途を祈り舞を舞い、都へ帰っていく。（中入り）

その後、義経一行が海へ出てしばらくすると、にわかに暴風になり、船頭の努力もむなしく船が波にもまれるうちに平家一門の怨霊が現れる。中でも知盛の怨霊は薙刀をふるい船を沈めようと襲いかかってくるが、弁慶の懸命の祈りに負け、引く潮と共に海へと消え去り、また静かな海に戻るのであった。

前段は静御前と義経の哀切な別れ、後段では平知盛の霊が海上で義経主従を悩ます劇的な場面で構成されています。シテ方は静御前と知盛の霊というまったく異なったキャラクターを演じ分けなければなりません。またワキ方や狂言方（間狂言）が、終始重要な役柄を演じることも特徴です。

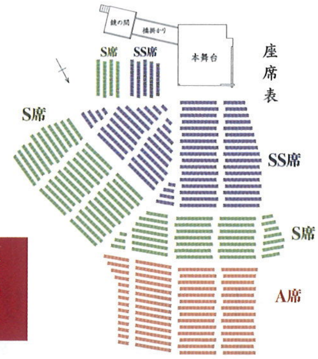
会場周辺案内図

［アクセス］

◆会場周辺は駐車場がございませんので、ご来場の際は公共の交通機関をご利用ください。
◆会場への最寄りのバス停は、根城（博物館前）です。
◆八戸市庁本館前～会場間は無料シャトルバスを運行します。
◆夜間冷えてくることもありますので、あらかじめ衣類のご用意をお願いいたします。

天候による会場の変更は、開催当日のデーリー東北紙面とホームページでお知らせいたします。また、下記専用番号でも開催のご案内をいたします。
専用番号 0180-99-3838（開催当日午前6時～午後5時30分）

座席表



『能・狂言講座』のご案内　■第1回 能・狂言の魅力～薪能の楽しみ方～ 5月21日（日）午後2時　■第2回 能「船弁慶」の謡と型（前編）6月18日（日）午後2時　■第3回 能装束と能面 7月8日（土）午後2時　■第4回 能「船弁慶」の謡と型（後編）8月6日（日）午後2時　■第5回 狂言ワークショップ～狂言の所作を体験してみよう～9月23日（土・祝）午後1時　■お問い合わせ：「薪能」事務局 ℡0178（44）5111（平日午前10時～午後5時）